THE STATE OF THE PARTY OF THE P



▲フラフープを羽に通すひたまる

華麗な演技に魅せられて

先日開催された新体操の大会「第7回常陸大宮CUP 2012」の応援に行ってきました。

選手たちの華麗な演技に感化され、フラフープに挑戦してみましたが・・・ひたまるにはフラフープのサイズが少し小さく、体全体に通すことはできませんでした。

選手たちのように、軽やかでしなやかな動きができるようになりたいと思いました。

御前山ビオトープ周辺の植物等



双子葉合弁花 サクラソウ科サクラソウ属 花期5~6月

山地、山ろくの湿地に生える多年草。直立した長い花茎で、5つに裂けた紅紫色の花がいくつもの段になって咲くのが特徴です。その様を五重塔などの先端部分(九輪)に例えて名付けられました。

九州を除く全国に分布しますが、本県では県北の産地に稀に生息します。

湿地の乾燥化や日当たりの悪さなどの生育環境の悪化、乱獲により個体数が減少しています。

江戸時代の俳人・小林一茶がクリンソウについての句を詠んでいます。

~九輪草 四五輪草で 仕舞けり~ (写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

上/宿遺跡現地説明会を開催

宇留野さくらロード東側に広がる上り宿遺跡では、過去二度の発掘調査が行われ、奈良・平安時代だけで100軒を超える竪穴建物跡が確認されたほか、墨書土器、「風字視」(形が「風」の字に似ているすずり)や「茸血」(平安時代に身分の高い人が使った箸置き)といった特殊な遺物が発見され、この地域の一大拠点集落跡として脚光を浴びました。

店舗建設事業に伴い、このたび第三次調査が実施され、縄文・奈良・平安・室町時代の遺構が確認されました。なかでも平安時代の掘立柱建物跡の発見により、この場所が地域の中心的役割を担っていた可能性がますます高まることとなりました。



▲ 4 月14日現地説明会。 悪天候のなか、地元住民80人が参集

広報 常陸大宮 5月 第92号

発行日 平成24年5月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319−2292

茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/

常陸大宮市の人口(5月1日現在·推計常住者)

総人口 44,229人 (男 21,650人 女 22,579人) 世帯数 16,166世帯

この印刷物は、常陸大宮市役所が、印刷プロセスで使用する2.44kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、 CO2排出量を24.75kg削減しました。



24.75kgのCO2削減量とは 樹齢50年(高さ22m・直径26m)の杉の木約1.77本分が 1年間に吸収するCO2量に匹敵します。

(出典:林業白書)

M@P

常陸大宮市役所は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・パリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています